

第六十五回帝國議會
衆議院

原蠶種管理法案委員會會議錄(速記)第六回

付託議案

原蠶種管理法案(政府提出)

會議

昭和九年三月五日(月曜日)午前十時四十分
開議

出席委員左ノ如シ

委員長 生田 和平君

理事横川 重次君 理事永田 良吉君

理事小山邦太郎君

青木 精一君 山本 慎平君

加藤 知正君 助川啓四郎君

戸井 嘉作君 百瀬 渡君

戸田 由美君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官子爵 織田 信恒君

農林省蠶絲局長 井野 碩哉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

原蠶種管理法案(政府提出)

○生田委員長 是ヨリ原蠶種管理法案ノ委員

會ヲ開キマス、直チニ討論ニ入リマス

○横川委員 私ハ同僚ヲ代表致シマシテ、

本案ニ對シ賛成ノ意見ヲ簡單ニ陳述致シマス、本案ハ政友會ニ於キマシテ、年來主張セラレテ參リマシタル蠶種統制ニ關スル思潮ト、全ク其基調ヲ一ニスルモノデアリマス、

殊ニ前議會ニ於テ、政友會ノ有志案トシテ

提出セラレマシタル原蠶種國家管理案ト

ハ、全ク其内容ヲ同ジウスルモノデアリマ

シテ、唯異リマスル點ハ、政友會案ニ於キ

マシテハ、必要ナル經費ハ之ヲ一時ニ支出

致シマシテ、速ニ其法案ニ依ル所ノ實績ノ

舉リマスコトヲ企圖シテ居ルノデアリマス

ルガ、本案ニ於キマシテハ、此蠶絲業上ノ

現狀改革ノ極メテ切迫致シテ居リマスルニ

モ拘ラズ、昭和十三年ニ於テ初メテ民間全

體ノ需要ニ應ジ得ルノ原原種ヲ、國家ニ於テ

供給シ得ルト云フ案デアリマスルカラ、頗

ル緩慢ノ嫌ガアルノデアリマス、政府ハ之

ニ對シ、財政上ノ理由ニテ已ムナク此舉ニ

出タノデアルト云フコトヲ、御答辯セラレ

テ居ルノデアリマスガ、一國ノ財政ハ固ヨ

リ國民經濟ノ反映デアリマシテ、國家財政

ニ餘裕ヲ生ゼシムル爲ニ企圖セラレマスル

所ノ産業上ノ施設ハ、敢テ春秋ノ筆法ヲ借

リマセヌデモ、財政ノ基礎ヲ確實ニセンガ

爲ノ施設デアアルノデアリマスカラ、財政ノ

爲ニ其支出ヲ吝ムモノアリト致シマスルナ

ラバ、ソレハ明白ナル矛盾デアアルノデアリ

マス、此點ニ關シ財務當局、殊ニ財務事務

當局ノ反省ヲ求ムル所以デアリマス、本案

ハ斯様ニ民間ノ實際上ノ必要ト多クノ逕庭

ヲ有スル點ガアルノデアリマスルカラ、本

案第五條第二項ニ依ル府縣蠶業試驗場ニ對

スル國庫補助金ノ交付ノ如キ、昭和十三年

ヨリ向フ十箇年ト豫定サレテ居ルノデアリ

マスルガ、是ハ極メテ實際ニ隔ルモノデア

リマスルガ故ニ、昭和十二年以前ノ設備ニ

關シマシテモ、此法案實施ニ應ズルノ施設

デアリマスル限り、速ニ補助ノ途ヲ樹ツル

ノ要アリト認メテ、政府ニ之ヲ要望スル次

第デアリマス、其他質疑ノ間ニ現レマシタ

ル民間ノ要望、乃至ハ同僚ノ要望ニ付キマ

シテハ、是ガ實施ニ當テ十分參酌考慮セ

ラレンコトヲ望ム者デアリマス

吾々ハ本案ニ付テハ斯様ナ次第賛成ス

ル者デアリマスルガ、吾々ガ抑、原蠶種國

家管理案ト云フモノヲ夙ニ唱道致シマシタ

所以ハ、蠶絲業上ノ機構ノ根本的ナ改善ト

云フコトヲ眼目ニ置イタノデアリマシテ、

即チ繭ノ處理上ノ根本的ナル改革、隨テハ

製絲業上ノ統制、隨テハ生絲ノ販賣上ノ統

制管理、左様ナ一貫シタル施設ヲ要望シツ

ツアリマシテ、其一個ノ現レト致シマシテ、

原蠶種國家管理ト云フモノヲ提唱シテ居

タノデアリマス、斯様ナ見地カラ吾々ハ此

案ニ對シマシテモ、更ニ政府ガ續イデ根本

的ノ蠶絲業上ノ機構改善ノ改革案ヲ、續々ト

シテ提案セラレンコトヲ希望スル意味合ニ

於キマシテ、茲ニ附帶決議ヲ附シタイト思

ヒマス、附帶決議ヲ朗讀致シマス

政府ハ蠶絲業ノ現狀ニ鑑ミ速ニ產繭ノ合

理的處理竝ニ生絲ノ販賣統制ノ方策ヲ樹

立シ之カ實現ヲ圖ルヘシ

右ノ附帶決議ヲ附シマシテ本案ニ賛成スル

者デアリマス、何卒諸君ノ御賛成ヲ乞ヒマ

ス(拍手)

○加藤委員 私ハ横川委員ノ御提案ニ賛成

ヲスル者デアリマス、本案ハ只今横川委員

モ御述ニナリマシタ如ク、嘗ニ我が政友會

ガ主張致シタコトガ、茲ニ實現致シタ許リ

デハアリマセヌ、全國二百萬ノ蠶絲業者ガ

多年希望シテ居リマシタコトガ、茲ニ其儘

實現スルコトニ相成ッタ次第デアリマシテ、

是ハ洵ニ國家——蠶絲業ノ爲ニ一大慶事タ

ルコトヲ失ハナイコト、存ジマシテ、滿腔ノ喜ト共ニ贊意ヲ表シタイト思フノデアリマス、併ナガラ唯遺憾ナコトハ、横川委員ノ御述ニナリマシタ中ニモゴザイマシタ如ク、道府縣ノ原蠶種ノ製造設備ガ、大正十三年以後十箇年ヲ經ナケレバ完成シナイト云フヤウナコトニ相成ッテ居ル點デアリマシテ、而モ國家ガ又一面之ヲ完成スル迄ニモ、之ニ要スル歲月ハ六箇年間ヲ要スルト云フヤウナコトニ相成ッテ居ル點デアリマス、斯ノ如キ緩慢ナルヤリ方ヲ致シテ居ッテ、ソレデ果シテ我が蠶絲業ノ實情ニ適シタコトガ爲シ得ルカドウカト云フ點ニ於テ、吾々ハ頗ル危惧ノ念ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、何トナレバ、今日ノ日本ノ蠶絲業ハ何ヲ措イテモ生絲ノ販賣統制トカ、或ハ生絲ノ消費宣傳ト云フコトガ、急務中ノ急務デアルニモ拘ラズ、其販賣統制ノコトモ、未ダ茲ニ實現スルニ至ラナイ、而シテ生絲ノ消費宣傳ノ如キハ、一層閑却サレテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、纔ニ我が生絲ノ需要者タル米國ノ絹業者ガ要望致シテ居ル絲條斑ノ改良ノ一部ニ資スル所ノ、此原蠶種ノ國家管理ガ茲ニ實現スルニ過ギナイヤウナ次第デアリマス、而モソレガ國ガ其目的ヲ完成スルニ於キマシテモ、

五年、六年ノ歲月ヲ要シ、道府縣ガ其事業ヲ完成スルニ十何年カラ要スルト云フコトデハ、日暮レテ道遠シト云フ憾ミヲ免レナイノデアリマス、間誤々々シテ居ル間ニ、折角ノ國家事業ガ、或ハ徒勞ニ屬スルト云フヤウナコトニナリハシナイカトサヘ、心配ヲシテ居ル人モ尠カラザル次第デアリマシテ、殊ニ其考ハ吾々日本人ヨリモ、米國ニ於ケル絹業者ニ多クアルコト、思ハル、ノデアリマス、ソレニモ拘ラズ、斯ウ云フ洵ニ優長ナル計畫デハ、到底吾々ハ満足スルコトハ出來ナイ、折角ノ國費ヲ投ジテ置キナガラ、其效果ヲ收メルコトガ出來ナイヤウニナリマシテハ、此上ナイ遺憾ト申ス外ハナイノデアリマス、此間政府當局ノ辯明ニ依レバ、經費サヘ十分デアレバ、五年、六年ト云フ歲月ヲ要セズトモ、三年、四年ノ間ニ於テ其事業ヲ完成スルコトガ出來ルト云フコトデアリマスガ、初年度ハ兎ニ角、次年度カラハ十分ノ經費ヲ要求セラル、ヤウニ致サレタイ、又府縣ノ方ニ對シマシテモ、其設備ヲ急ガセルト云フコトハ、助成金ノ關係ニ於テ爲シ得ナイコトハナイノデアリマスカラシテ、ドウカ此點ヲ十分御考慮ノ上ニ、實際ノ蠶絲業ノ現情ニ即シタ計畫ヲ立テラレ、速ニ之ヲ遂行セラル、ヤウ

ニ御配慮アラシコトヲ希望シ、私ハ茲ニ贊成ノ意ヲ表シテ置ク次第デアリマス
○百瀬委員 原蠶種國家管理法案ニ對シマシテハ、吾々モ原案ニ贊成デアリマス、毎々申上ゲルコトデアリマスガ、原蠶種ノ國家管理ダケヲ以テシテハ、蠶絲業ノ根本政策ハ成立タナイノデアリマス、原蠶種ノ國家管理ハ蠶絲業ノ根本策ノ一ツニハ相違アリマセヌ、是ト同時ニ產繭ノ合理の處理、生絲ノ販賣統制ヲ併セテ行フノデナケレバ、其目的ヲ達成スルコトハ出來ナイノデアリマスルカラ、只今ノ附帶決議ニ付テモ贊成ノ意思ヲ表スル者デアリマス、政府ハ速ニ此產繭ノ處理、或ハ生絲販賣統制案ヲ今期議會ニ御提出ニ相成ッテ、而シテ此目的ヲ達成スルコトニ御努力アランコトヲ切望ニ堪ヘナイ次第デアリマス、此場合ニ唯私ハ——附帶決議デハアリマセヌガ、申上ゲテ置キタイコトハ、先日同僚小山委員ト政府當局トノ間ニ質疑應答ガアッタヤウニ考ヘテ居リマスルガ、本法施行ノ曉ニ於ケル蠶種ノ病毒検査ノコトデアリマス、自治検査ヲ依然トシテ政府ハ之ヲ認メテ居ル御方針ノヤウデアリマスルガ、既ニ原蠶種ヲ國家管理デ統制スル此場合ニ於キマシテ、自治検査ヲ依然トシテ認メルト云

フコトハ少シク不合理デアル、成程今日ノ自治検査ハ、其結果ニ付テハ當局ノ言ハレルガ如ク、少シモ差支ハナイノデアリマセウケレドモ、併ナガラ利害關係ヲ有スル所ノ當業者ノ検査ニ委シテ置クト云フコトハ、是ハ餘程考慮シナケレバナラナイ問題デアリマシテ、寧ロ政府ガ進ンデ斯様ナ自治検査ハ撤廢シテ、サウシテ政府自ラ嚴重ナル病毒ノ検査ヲスルト云フコトデナケレバ、其趣旨ガ徹底シナイト思ヒマス、私ハ自治検査ハ本法施行ト同時ニ撤廢スル方ガ宜シイト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ之ヲ政府ニ要望スルモノデアリマス、成ベク自治検査ハ撤廢サレルヤウニ、私ハ附帶決議以外デアリマスケレドモ、特ニ此事ヲ希望ヲ當局ニ致シテ置ク次第デアリマス、以上ノ理由ニ依リマシテ、甚ダ簡單デアリマスガ、既ニ本案ハ前議會ニ於テ論議ヲ盡サレテ居リマス、最早彼此レ論議スル餘地ハナイモノト信ジテ居リマスカラ、原蠶種管理法案ニハ贊成ノ意ヲ表シテ置キマス
○戸田委員 私共國民同盟ノ者モ、原蠶種國家管理法案ニ付キマシテハ、原案竝ニ横川君ノ御提案ノ附帶決議共ニ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、本委員會ハ、議會内ニ於ケル各黨派ノ蠶絲業ニ關スル權威者ヲ以

テ組織セラレテ得ルヤウニ私ハ信ジテ居リマス、是等ノ諸君ガ連日慎重審議サレマシタ此原案ニ付キマシテ、附帶決議モ附サレテ居ルノデアリマスルガ、全部賛成ト云フコトニ相成リマシタコトハ御同慶ニ存ジマス、隨テ只今横川君、百瀬君ナドヨリ御話ガアリマシタヤウニ、政府當局ニ於カレマシテハ、此委員會ノ權威ヲ十分御認メ下サリマシテ、本案ノ實行ニ際シマシテモ、更ニ附帶決議希望條件トナッテ居リマスル產繭處理、或ハ又生絲ノ販賣統制ナドニ付キマシテモ、殆ド此原蠶種管理案ト不可分ノ問題デアリマシテ、私共ハ寧ロ本案ト共ニ、政府ガ他ノ二問題ニ對スル根本對策ヲ、同時ニ御提案下サル位ニ希望シテ居ッタ次第デアリマスカラ、何卒當局ニ於カレマシテハ、當委員會ノ意ノアル所ヲ十分ニ御諒承下サリマシテ、目下春繭ト云フ時季ニ向ヒツ、アル此現状ニ鑑ミマシテモ、一層ノ御努力ヲ下サルヤウニ希望申上ゲテ、原案竝ニ附帶決議案ニ贊意ヲ表スル者デアリマス

○戸井委員 本案ニ付キマシテハ全部賛成ヲ致ス次第デアリマス、其他ノ希望條件ニモ賛成デアリマス、生絲輸出ニ最モ大關係ヲ有シテ居リマスル横濱ト致シマシテハ、是ハ所謂數年前ヨリノ希望デアッタノデア

リマスカラ、是ガ愈進ミツ、アルト云フコトニ付テハ、一同非常ニ満足致シテ居ル次第デアリマスル、ドウカ政府ニ於カレテモ、此意味ニ於キマシテ十分ニヤッテ貰ヒタイ、私ハ此狀況ヲ總テ横濱ノ輸出業者、其他商工會議所等ニ參リマシテ狀況ハ述ベテ居リマスル、一同ドウカ工合好クヤッテ貰ヒタイト云フ希望デゴザイマス、輸出港トシテノ横濱ノ、詰リ希望ヲ此際一言申上ゲテ、原案ニ絶對賛成ヲ致ス次第デアリマス、宜シクドウゾ頼ミマス

○生田委員長 討論ハ終結致シマシタ、是ヨリ採決ニ入りマス、横川君ヨリ本案ニ對スル賛成ノ御意見ガアリマシテ、加藤君、百瀬君、戸田君、戸井君等ヨリ、ソレゾレ賛成ノ御意見ガアリマシタ、先ヅ原案ノ可否ニ付テ採決ヲ致シマス、原案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

〔賛成者起立〕

○生田委員長 起立總員デアリマス——次ニ横川君ノ附帶決議ニ付テ採決ヲ致シマス、賛成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

〔賛成者起立〕

○生田委員長 起立總員デアリマス、本案ハ二次會、三次會ヲ省略シテ、直チニ可決確定致シタイト思ヒマス、御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ビ、拍手起ル〕

○生田委員長 御異議ガナケレバ可決確定致シマス、諸君連日ノ御苦勞ヲ感謝致シマス、此案ニ付テハ是デ終結致シマシタ、是デ散會致シマス

午前十一時二分散會

昭和九年三月五日印刷

昭和九年三月六日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社